

わたしたちの町

人 口（男）…4,571人
（女）…4,931人
合 計…9,502人
3月中の転入…40人
転出…120人
世 帯 数…2,319世帯数

(58年3月末日住民登録調べ)

広報

あいかわ

昭和58年4月25日 第299号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 018678-2111

広報は、中学校生徒会に委託して各家庭に配布しています。（発行予定期毎月20日）広報への意見や話題などをあ知らせください。

'83 / 4月
299号

県立農大
学校

中国農業技術研修生の第二年次、一行十名が四月九日、

来町しました。

農業研修生の招請は、昨年からはじまり四月に十名が、

たと関係者から称賛されました。実習、民泊、中国語

講座などで町民との交流も育っています。

第一陣は三月に学業を終えて、帰国。引き続いて新メ

ンバーの十名が来町したものです。学校での歓迎式

は劉傑元（りゅうけつげん）団長が「すぐれた農業技術

を学び、友情を深めるためがんばります」とあいさつし

激励の拍手をあげていました。

また十一日には中国研修生をふくめて大学校新入生三十六名が役場を訪問。町長が「合川町民として誇りをもつてすごしてください」と歓迎のあいさつ。新入生の中には町内出身の三名もふくまれており、「巣立ち」の日が待たれています。（拍手にかこまれて入校）

「熱烈歓迎」—「ニイハオ」 技術と友情の交流を



中国研修生入校式

町制施行記念日

永年部落役員 三十一名を表彰

式典では町民歌の齊唱に続いて、永年、部落役員を努められた三十一名を表彰しました。町長は「町が生まれてから、苦難を乗りこえた町づくりが進められてきました。

表彰では、ほんとうに自らに力をあわせてすばらしい功労者です。県北の中心的位置にある当町の責任は重く、部落の中でも多くの苦労を重ねてきました。町をめざします」と決意を述べました。

式典では町民歌の齊唱に続いて、永年、部落役員を努められた三十一名を表彰しました。町長は「町が生まれてから、苦難を乗りこえた町づくりが進められてきました。

表彰者を代表して松岡菊太郎（羽根山）が「長生きして、発展する合川町を見守り、その一助になりたい」とあいさつ。町づくりへの誓いを新たにしました。

永年部落役員（優良部落）として表彰されたかたがたは次のとおりです。

川井・佐藤吉太郎 桃栄・阿部（敬称略）

藤本・銀子（投票率）・知事選挙
山田投票区・九三・一% 杉

里投票区・八九・八六% 三木

田投票区・八九・七三% 李岱

投票区・八八・六六% 道城投

金沢投票区・九三・一% 杉

山田投票区・九一・八六% 三

里投票区・八九・八九% 増沢投票

投票区・八八・八三% 新田目投票

投票区・八六・二三% 羽根山投票

投票区・八五・五五% 川井投票区

投票区・八五・三八% 木戸石投票区

投票区・八四・八三% 駅前投票区

投票区・三・八七% 根田投票区

投票区・三・三三% 上杉投票区

投票区・八七・一% 成田投票

投票区・一七六票 北林投票

投票区・二・八五七票 高橋投票

投票区・成田投票

投票区・じゅんじ一・六六六票 大沢投票

投票区・八七〇票 清治投票

投票区・六・一一一票 知事選挙

投票区・六・一九二票 県議会議員選挙

投票区・五・一九四票 県議会議員選挙

投票区・九〇四票 県議会議員選挙

投票区・六・一一一票 県議会議員選挙

投票区・六・一九二票 県議会議員選挙

投票区・五・一九四票 県議会議員選挙

一般会計総予算は26億3,810万2千円

町の今年の予算から

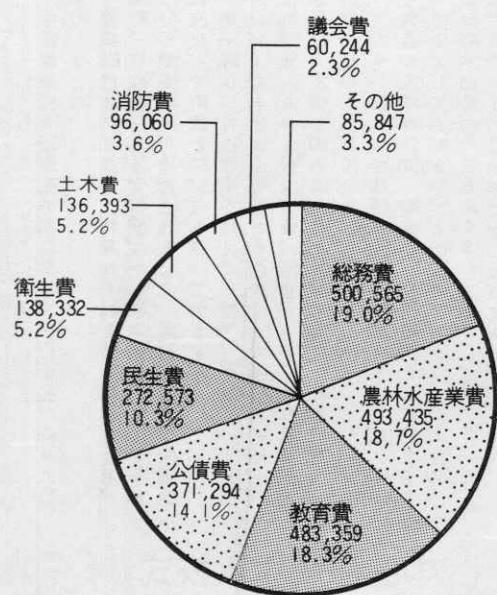
●前年度と比べて●

総予算…2.0%減少

地方交付税…5.3%減少

建設的事業費…2.6%増加

歳出の内訳 (目的別) 単位千円



性質別歳出の内訳

56年度・57年度 58年度の比較

単位千円

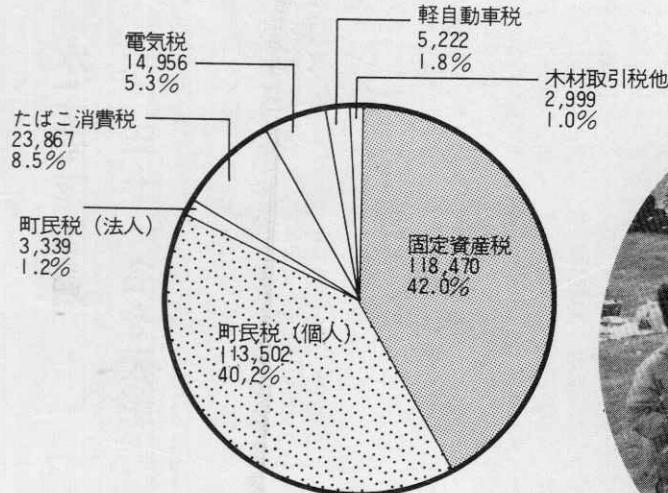
	56年度 当初予算 2,582,317	57年度 当初予算 2,690,894	58年度 当初予算 2,638,102	56年度・57年度 伸び率 4.2%	57年度・58年度 伸び率 △2.0%	58年度の比較 △6.7%
総務費	708,181 27.4%	559,918 21.7%	420,338 16.3%	△21.2%	△6.2%	△16.2%
農林水産業費	420,338 16.3%	386,961 15.2%	286,079 11.1%	△16.2%	△12.4%	△16.6%
教育費	286,079 11.1%	209,896 8.1%	209,896 8.1%	△18.1%	△1.3%	△1.3%
公債費	209,896 8.1%	174,816 6.5%	174,816 6.5%	△55.4%	△49.2%	△49.2%
扶助費	174,816 6.5%	111,290 4.1%	111,290 4.1%	△49.2%	△26.0%	△26.0%
物販費	111,290 4.1%	101,111 3.7%	101,111 3.7%	△3.8%	△3.8%	△3.8%
その他	101,111 3.7%	129,332 4.9%	129,332 4.9%	△129,332 4.9%	△129,332 4.9%	△129,332 4.9%
灾害復旧費	4	4	4			

歳入の内訳 57年度 58年度の比較 単位千円

	57年度 当初予算 2,690,894	58年度 当初予算 2,638,102	57年度の比較 △5.3%	58年度の比較 △2.9%	58年度の比較 △7.6%	58年度の比較 △8.6%	58年度の比較 △36.4%	58年度の比較 △25.7%
地方交付税	1,310,000 48.7%	1,241,000 47.0%	△11.7%	△11.7%	△9.7%	△9.7%	△8.8%	△9.4%
県支払金	315,782	306,695						
町債	315,500	339,500						
町税	260,087	282,355						
その他	238,305	318,238						
国庫支出金	253,220	150,314						

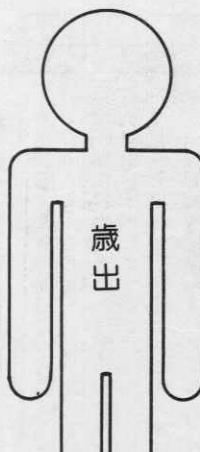
町税の内訳 (2億8,235万5千円)

単位千円



生きがいに満ちた

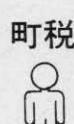
活力ある町をめざして



町民1人当たりの
町税と町で使うお金

(一般会計)

9.35倍



277,636円

29,715円

特別会計当初予算

国民健康保険特別会計	387,200千円
国民健康保険診療所特別会計	145,429千円
簡易水道施設特別会計	105,216千円
老人保健特別会計	339,687千円
墓園特別会計	1,393千円

明るく住みよい

町づくり

今年はこんな事業を行います。

- 農村地域農業構造改善事業.....4,468万8千円
大野台施設園芸組合補助
- 農村総合整備モデル事業.....1億3,859万5千円
農村環境改善センター自転車置場等付帯工事
農道6路線2,460m
集落道路3路線645m
集落排水路1カ所 311m及び調査費
- 農道整備事業.....6,391万6千円
木戸石、根田、合川西部(三里一増沢)
- 地積調査事業.....2,523万円
羽根山・根田・大内沢
- 入会林野整備事業.....153万5千円
- 間伐促進対策事業.....399万8千円
- 新林構実験事業.....2,318万6千円
いたて森管理休憩棟・展望台・林間歩道・
広場・駐車場・つり場
- 山村林構事業.....6,651万円
林道三里線、堤沢口線、八幡岱集会施設
- 除雪ローダー購入.....1,289万1千円
- 町道整備.....6,374万9千円
大野台駅線改良
摩当沢線舗装
他
- 消防施設整備事業.....1,252万円
防火水槽 5基
- 市民体育館建設事業.....2億7,055万7千円
- 広報無線整備.....12万2千円
- 公有林整備.....6,412万1千円
新植19.9ha
補植17.0ha
保育527.2ha
- 児童遊園地工事.....14万円
- 保育園整備.....45万6千円
- 和牛導入事業(補助金分).....390万円
- 下杉溜池整備事業(補助金分).....115万円
- 土地改良総合整備事業(推進補助分).....100万円
- 住宅用地造成費等.....2,480万円
- 小中学校施設整備及び備品.....753万4千円
- 土地取得費.....4,947万5千円

わが家の わたしの 宝もの

20

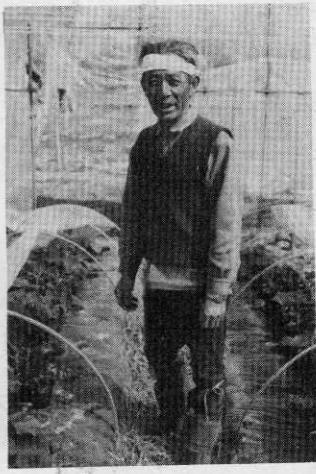
「自分の好きなものを好きなようにつくる——いろいろやりましたが、ものを育てるほど生きがいのあることは、ほかにありません。」山岡さんは72歳、国民健康保険会員で医者にかかるなかつた「優良家庭」として連続4年間表彰されています。野菜づくりにかける情熱は「だめでもいいから、やつてみないと新しいものは生まれてこない」と言い切るなど、若さにあふれています。

「くふうのしょで、ここでなければできないものがいるはずです。私は機械を使わずに、くわ1丁でやっていますから。石油がなくなつてもだいじよぶです(笑)。野菜づくりを始めたのは12年前に出かせきをやめてから。本を読んで自分でくふうして、ほとんど『独学』だといいます。

「きゅううりは2月4日に種をまきました。ハウスをやり始めたころは、夜中のぞきにいつたり、ストーブをたいたり、野菜づくりの調子を覚えるまではたいへんでした。5月の末には

はきゅううりが食べられます。新鮮な野菜を食べて、あまたのものを買つてもらつてどうにかやっています。」『百姓百歳(裁)』と語る山岡さんがつくつていける野菜は多種多彩。「あさづき、秋まきのえんどう、トマトやきゅううりの後作にえんどうを植える一本格にやれば米以上の収入になるはずです。

「2、3年前までは、冬も自分で食べるぐらいの野菜をつくっていました。気のむくままにとれたての野菜を食べているのが健康につながっていると思います。一手押し車で販売する山岡さんの野菜は、周辺の部落でたいへん喜ばれています。



雪田
山岡由太郎さん

手作り新鮮な野菜 夫婦四年間医者知らず

エコーサイズ入所者と町内の一人ぐらしの皆さんとの交流会が、三月二十五日、町保健センターで開かれました。この交流は「お互いに近所づき合いを！」と開かれているもので、今年で七回目。八十名余りが参加しました。

午前の部は保健婦を交えて、健康づくり教室。センターの体力づくり用具などを活用して、楽しい時間を過ごしました。

昼食時間には、西保育園からかわいい園児たちがかけつけて、「おゆうぎ」を披露。手づくりの「長生きくんしよう」をおじいちゃん、おばあちゃんにプレゼント。「早く大きくなるんだよー」と園児たちの手を、年輪をきざんだ参加者の手がつつみ、自分の孫を見るような握手が続いていました。

エコーサイズでは「一日体験

町内一人ぐらし交流会

「入所者」を募集しており、「開かれた施設」づくりをすすめることにしています。



お互いにいつまでも元気に

海外研修 レポート

去る二月八日から二十二日まで

日本農村振興協

会の主催する大洋州農業事情調

査団の一員として、オーストラ

リア、ニュージーランド二ヵ国

を訪問させていただきました。

両国の農業事情と文化・生活を

調査することができたことは、

私の生涯にとって忘ることの

できない有意義な期間でありま

した。特に感じたことを思つま

まに書かせていただきます。

まず最初に、農家の農業に対

する取り組み方が日本と大きな

違いがあると感じました。オース

トラリアでは二年連続の大干

ばつがありました。政府では

これに対する減税と乾草の運搬

費の補助ぐらいしか手当でをし

ては当然予想して生活設計をし

てないというところでした。こ

れに対しても耐えることが出

いました。これが

思いました。農家自身は干ば

つは当然予想して生活設計をし

てないといつたと話してお

りました。これ

は、当然予想して生活設計をし

てないといつたと話してお

りました。これ

は、農地を親から譲り受けている

こと。農地をやりたい

人は、親からで

も土地を買わな

くてはならない

農業に取り組む

意欲のある人だ

うことがなく、美しい

各地を視察し感じたことは美

い緑の街路樹、住宅付近には

どこでも花壇があり、美しい

景色をしております。自然を愛し、

自然を大切に守り保護する精神

等日本人は学んでいかなければ

ならないことだと強く感じてま

りました。今回の調査研修で

学んだ貴い体験をこれから郷土

の開発と農政の推進に少しでも

生かすことができればと考えて

おります。

ニュージーランドを訪ねて

農林課 坂 上 満

農林課

羊や牛の放牧地はセスナ機で視

<p